

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院リハビリテーション部では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自分やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間：2019年9月1日～2021年8月31日の間に、慢性腎不全のために虎の門病院腎センター内科に入院・通院し、腎臓リハビリテーションを行った方

【研究課題名】

慢性腎不全患者における腎臓リハビリテーション1年間フォローアップに関する研究

【研究の目的・背景】

《目的》

本研究の目的は、腎臓リハビリテーション（主に運動療法と栄養指導）を行った慢性腎不全患者さんの1年間の腎機能や身体機能などの変化を明らかにすることです。

《研究に至る背景》

身体機能（筋力や体力）が低いと、転倒や身体障害などが起こりやすく、ご病気を治療中の方では合併症や再入院などが起こりやすいことが分かっています。そのため、身体機能が弱まるのを防ぐために、または改善するために運動と栄養で身体機能を維持改善することが重要です。

これは、慢性腎不全患者さんにおいても同様で、身体機能が低いと身体障害や透析導入が起こりやすいことが示唆されています。そのため、運動と栄養で身体機能を維持改善する必要がありますと言えます。しかし、従来から腎不全患者さんは腎臓への血流が減少するなどの理由で、運動が腎機能を悪くすると考えられていたため、運動に関する研究は積極的には行われていませんでした。

しかし、最近の研究報告で、腎不全患者さんにおいても運動の安全性と腎機能を改善する効果がわかってきました。少ない研究報告ではありますが、運動は体力やQOL（生活の質の指標）、eGFR（腎機能の指標）を改善することが報告されています。しかし、その効果は確立されているとは言えず、筋力や歩行能力、長期的な透析導入抑制や入院抑制などに対する有用性はほとんどわかっておらず、本研究を立案するに至りました。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2021年11月26日～2022年12月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院リハビリテーション部・中道健一のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

診療情報を虎の門病院外へ提供する予定なし。

【利用する診療情報】

診療情報：検査データ、診療記録、薬歴、看護記録、理学療法実施記録

【虎の門病院における研究責任者】

リハビリテーション部・中道 健一

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2022年6月30日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 リハビリテーション部・市川 雄大

電話 03-3588-1111(代表)